

# ボランティア♥通信 12月

2017年12月28日発行

## 災害救援ボランティア養成講座



↑1日目 講義の様子



↑2日目 AED研修



↑3日目 模擬消火器を使った消火訓練



↑3日目 豪雨模擬体験

12月2日(土)、9日(土)、10日(日)の3日間、公益財団法人日本法学会 災害救援ボランティア推進委員会、千代田区の後援のもと、『災害救援ボランティア養成講座』が開催されました。

本学からは18名が参加し、災害救援の場で必要な知識や技術を学びました。1日目は座学とグループワークで、災害救援ボランティアとして必要な心得の基礎を勉強しました。2日目は応急手当活動の実習を行い、AEDを用いた心肺蘇生法・様々な止血法・担架での輸送法などを実際に身体を動かして身につけることができました。3日目は、午前は墨田区の「本所防災館」で、豪雨・火災(煙体験・消火)・地震(起震車)の災害シミュレーションの模擬体験をし、午後は3日間のまとめとして、「災害ボランティアとしてチームで活動する際、様々なトラブルが起きたらどう行動するか」というテーマでロールプレイを行いました。

災害復旧の現場では、自治体などによる公助が回復するまでの間、コミュニティでの自助・共助がとても重要です。受講生のみなさんは、今回の経験を活かし知識をもった人材として、災害時に周りの方の支えとなって活躍して下さることと期待します。



講座修了者には、「上級救命技能認定証」、「セーフティリーダー認定証」が授与されました。

## 上智聖歌隊 宮城県気仙沼市でのボランティア活動

課外活動団体「上智聖歌隊」のみなさん(OB・OGの方々を含め、16名)が神学部の宮越俊光先生とともに、12月16日(土)～17日(日)の2日間、宮城県気仙沼市でクリスマス会への参加、気仙沼第一聖書バプテスト教会の主日礼拝での聖歌奉仕などを行ないました。

### ■1日目

気仙沼市面瀬公民館でのクリスマス会に参加。クリスマスソングだけでなく、地元の方々にも身近な童謡「ふるさと」などを歌唱。終了後は参加者とお茶っこを開き交流を深めた。

### ■2日目

気仙沼第一聖書バプテスト教会にて主日礼拝での聖歌奉仕。その後は、銭湯「友の湯」にて「メリー風呂スマス～気仙沼・友の湯に響くクリスマス・ハーモニーライブ！」を開催。1日目の選曲に加えて、銭湯にまつわる曲も歌い、銭湯で歌うという珍しい経験ができた。



■「きよこの夜」などは、参加者にあらかじめ歌詞カードを配っておいたので、多くの方が一緒に歌って下さり非常に嬉しく、出身地も年齢も異なる私たちが一体になったように感じた。今回はきれいなハーモニーを出すだけではなく、相手の心に届くかをより重視して活動した。

一緒に「ふるさと」を歌っている際、涙を流している方もいらっしゃった。歌には人を自然と笑顔にする力があり、その力を通して人と寄り添うことの大切さをこの活動を通して改めて感じた。

■今回の滞在は駆け足のスケジュールであったが、2日目の早朝、散歩に出かけた隊員は、土囊の山や整備されていない道路など、進行中の復興の様子を再確認した。

こうした側面が報道されることが少なくなった今だからこそ、私たちの継続的な支援、被災者の方々の方に寄り添い、心の負担を軽くすることが大切であると感じた。

ボランティア・ビューローでは東北・九州復興支援活動について交通費の補助を行なっています。制度の詳細は右記のQRコードまたは<http://bit.ly/2BJg2Hc>からご確認ください。  
ご興味のある人はぜひ、ご覧ください！



上智大学ボランティア・ビューロー 2号館 1F 学生センター⑧窓口

Tel : 03-3238-3525 Mail : [volunteer@cl.sophia.ac.jp](mailto:volunteer@cl.sophia.ac.jp) Twitter : @SophiaVolante

